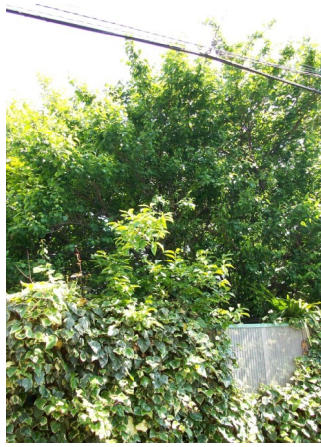


父の代から70年住んでいた家が道路収用になり取り壊すことになりました。

小さい庭なのですがその庭には柿、梅、柚子、金柑などが密集していて夏には藪蚊に悩まされたものです。夏にいいよ解体の日を迎えて業者さんが足場を組んで庭木の伐採の準備をはじめると、近所の方が集まってきました。みなさん名残惜しそうに木々をながめておられます。

お隣の方は「この木私の子供の頃からあるのよね。鬱蒼として私の家にはみだしていったから随分と金柑や柚子を取らせていただいたわ。残念だわ。梅を頂いて梅酒でお返ししたりしたし・・・」



その会話を聞いていた解体業者の方が手伝ってくださり、私と二人でなっている柚子と一緒に取ってくれました。取れた柚子は隣家の方々にお裾分けいたしました。今まで手入れがお面倒だと思っていた庭木達が近隣の方の憩いとなっていたのだと知りました。酒とお塩で家と庭を供養しながらあらためてこの家を残してくれた父と我々兄弟を包みこんでくれた木々にありがとうと感謝しました。

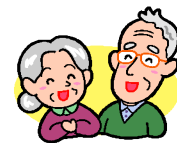
今までありがとうございました。
(埼玉県鴻巣市 半田 英暁)

僕は今年大学に進学できました。高校で受験してエスカレーター式の大学に入学することができました。地元の人たちが大学受験で四苦八苦しているのを傍目になんかわるいなーと思いつつながら高校生活を楽しませてもら



いきました。世の中は不景気みたいで。僕のお父さんの仕事も大変そうです。私立高校の学費や入学金の工面に苦労して・・・夜な夜な父と母でお金の算段を話し合っているひそひそ声が聞こえる度に「奨学金を申し込んでみようかな。だめだったら進学をあきらめようかな。」と思いつつ日々でした。ある日おばあちゃんの家へ遊びに行ったらおばあちゃんか、「お父さんの仕事は大丈夫なのかい？おまえの学費はおばあちゃんか貯金しているから心配しないでいいんだよ。」と言ってくれました。とてもありがたかったです。おじい

ちゃんやおばあちゃんに感謝してちゃんと勉強します。いつまでも元気でいて孝行させていただきます。おばあちゃん、おじいちゃんありがとう。
(横浜市 Y/I)



先日社会人になってはじめての給料をもらいました。そのお金で父と母に横浜のうなぎ屋さんで特上うなぎ重をご馳走しました。父も母もとても喜んでくれました。今までは親不孝してきたのです。ただ罪滅ぼしのできたのでとてもうれしかったです。

社会人になって思うことは、学生時代と異なり、責任が重くとても厳しい世界であるとおもいます。自己管理も大切で、学生気分を払拭するのに必死です。

これからもつとがんばってもつとがんばります。お父さんお母さんこれまでささえてくれてありがとう。
(株)ホロニックス 総研 木戸晶裕

先日妻の義理の父がなくなりました。三年前から膀胱癌を患い、抗がん剤治療を受けて入院をくりかえしていましたが、先月から容態が悪化して亡くなってしまいました。

しかし、最後は義理の兄夫婦、孫三人、義理の母と妻、みんなに看取られ、とても幸せに安らかに旅立ちました。亡くなる数週間前は癌が内臓に転移したらしく痛みが強く看病している妻

に八つ当たりするので妻は看病から家に帰ると目を赤く泣きはらしていました。それでもあきらめずに病院に献身的に看病に訪れる妻を私はとても頼もしくおもいました。



そんな荒れていた父がある日でもおだやかになって妻に言ったそうです。「おれはもう長くない。わかるんだ。仏様が理解出来る心境になってきた。住職にたのんでお釈迦様をもらってきたくれ。」 私は寺の住職にお願いしてお釈迦様像に祈願してもらいました。それを義理の父の枕元において「おとうさん。心配しなくていいよ。偉いお坊さんをお願いしてあるから上に行ったらちゃんと待っていてくれるから、お釈迦様についていって門のところまで自分の名前を言うんだよ。」と伝えました。義父はうんうんとうれしそうにうなずき、とても穏やかになりました。

孫一人一人に家訓をのこして。義母には「おまえと一緒に生きてよかった。ありがとう」と遺言を残しました。家の建て替えの問題で意見があわなかった兄夫婦には「俺が亡くなったら家を建て替える。」

嫁の好きにしている。ただし残されたお母さんを大事にすること。」と言いつつ最後は眠るように亡くなりました。

義父さんに出会えて僕は幸せでした。僕たちの心にとっても大切なものを残してくださった義父さんありがとう。上でまたお会いしましょうね。

「瓜正」のうなぎをまた食いましょう。でも僕は痛いのがいやなのでこれからは健康に気をつけよう。

四〇年は待っていただけよう。ありがとうございます。不動産 豊田泰幸

